

## 令和7年度北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会 議事録

<p>日時 令和8年3月16日(月) 13時30分～15時</p> <p>場所 北栄町大栄庁舎3階 第1委員会室</p> <p>出席委員</p> <p>会長 大西孝弘(社会福祉協議会)、副会長 田村禎之(老人クラブ連合会)、小谷康子(民生児童委員協議会)、磯江華葉(女性団体連絡協議会)、岩垣裕子(介護者代表)、岩床淳弘(サンテリオン北条)、中村康博(セラトピア)、野間禎治(中部総合事務所県民福祉局福祉課)、桑田紀代(一般公募)、立石初子(一般公募)</p>	
<p>1 開会</p>	
事務局	<p>ただいまから令和7年度北栄町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定委員会を始めます。最初に大西会長、あいさつをお願いします。</p>
<p>2 あいさつ</p>	
会長	<p>ご出席いただきましてありがとうございます。介護保険制度ができたのが2000年ということで、今年で20数年経っています。この間、北栄町の介護保険の充実が図られてきています。</p> <p>その中で、運用については各市町村になりますので、この委員会では委員の皆さんが日頃気になったこととか、疑問に感じたこととか、そういうことを出し合っていて、より良い事業計画につながるような会にしたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>3 議事</p>	
進行(会長)	<p>本日の議事のメインは実施状況についてです。</p> <p>最初に資料の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>まず1ページ目は、要介護、要支援別の給付費の実績です。</p> <p>グラフは、薄い方が実績、濃い方が計画値です。事業計画が3年毎なので、金額も3年間の中でだんだん上がるようになっていきます。</p> <p>今は第9期の事業計画ですが、見込みよりも介護1から5の方につきましては、傾向は同じですが量が計画値よりも少ない見込みです。また半分から下の要支援1、2の方は計画値よりも実績の方が計画値よりも上回っています。</p> <p>ものすごく上がっているように見えますが、介護度がある人のグラフは目盛りが5,000万円ですが、下の要支援のグラフの方は500万円ずつなので、全体的には給付費が抑えられています。</p> <p>次に2ページは、一番上が居宅サービス、真ん中が地域密着サービス、一番下が施設サービスということで、ここは介護も支援も全て合計した数字になっています。</p> <p>居宅サービスは、計画値に比べて同じような上がり傾向ですが、抑えられた実績になっています。</p> <p>地域密着サービスは、計画値に比べて実績が抑えられています。</p>

	<p>施設サービスは、計画では居宅に移っていきと考えましたが、実績は給付費が増えました。</p> <p>3 ページです。上の方が高齢者の推移、65 歳以上の方の推移ですが、四角の濃い方が実績で、菱形の薄い方が計画です。計画では令和 7 年度をピークに、8 年度から下がっていくような見込みだったんですが、実績を見ていただくと、6 年度に比べて 7 年度の方が既に下がってきていて、ピークが昨年度だったことが見えてきました。要介護認定者の推移ですけれど、各年度 9 月末現在を載せていて、計画では毎年上がっていくような見込みを立てていましたが、実績で認定者の方は下がってきています。</p> <p>次に 4、5 ページ。介護給付費準備基金を積み立てています。介護保険料を 7、8、9 期は値上げをせずにきていますが、基金があることによって、何かあれば取り崩し、保険料を原資とする科目に充てるようにしています。</p> <p>8 期のときにも保険料は据え置きで、この基金を取り崩すような計画でした。令和 6、7、8 年度の 3 年間を通して 8,870 万円の基金の取り崩しを見込んでいたけれど、6 年度にもこれだけ溜まってきたので取り崩すことなく積み立てました。給付費も思ったより伸びていません。</p> <p>介護保険料も順調に徴収できていますので、令和 7 年度も基金を取り崩すことなく、積み立てられる見込みです。令和 8 年度は計画通り、取り崩す予算を組んでいます。来年度作業に取り掛かる10期計画では、令和 9～11年度に向けて、基金や給付費の伸び、保険料の徴収状況を見ながら、介護保険料を設定します。</p> <p>駆け足ですが、サービス給付とか基金のところの説明とします。</p>
進行(会長)	1 ページから 4 ページまで説明がありました。ご質問やご意見がございましたらお願いいたします。
委員	<p>私は今 85 歳で、一般公募者です。公募をしたのは、自分が高齢者になって、この町でどういうふうに生きていけるかをちょっとでも知りたくて、応募したわけです。</p> <p>非常に北栄町の取り組みは健全、優秀だと思います。</p> <p>全国的にみても認定率も低く、国内でも優秀といってもいいじゃないでしょうか。</p> <p>私が住んでいるところで「こけないからだ体操」をやっていますが、5 ページで「1」になっているので、ほかの自治会でもやっていると思います。</p> <p>それから私はリフレッシュ教室にも出かけています。午後からですが、体操やトランプなんかをやって、それが 200円 なんです。200円で運営できるのかな?と思います。</p> <p>私自身、運転を止めまして、そうすると高齢者になった気分が強くなって。そう考えた時に、非常にきめ細かく事業をしていただいていることで、重症化している人が少なくなっているんだな、と感じます。</p>
進行(会長)	その他いかがでしょう。
委員	はい、文字の確認です。4 ページの、単年度実績の下の言葉は何ですか。
事務局	通計です。グラフが見にくいですが、単年度の実績を加算していったものです。

委員	2 ページの部分で、居宅サービスは説明のように元気な高齢者の方が増えて伸びなかったかなってところですけど、施設って箱物自体は増えてないはずなんですけど、グラフのように跳ね上がったのって何か原因とかあるんですか。
事務局	加算も影響しています。人数が急に増えたとかではないですね。
委員	あとは単純に入所しておられる方の要介護度が、4、5の方が多くなると高くなるんでしょうね。
委員	3 ページの上の表で高齢者人口が予定より少し早くピークを迎えるという説明をいただいたんですけど、直感的に見て亡くなられる方が従来より少し多いのかなって印象で、今まで介護保険の利用いただいていた方が亡くなられて、事業者としては利用者が少し減ってくっっていくのを感じてるんですけど、町はそういう印象を持っていますか。
事務局	まさにそういう傾向です。
委員	少し前でしたが、鳥取県全体で出生者数が 3000 人台で、一方、亡くなる方が 800 0人を超えて過去最高みたいな報道もあったんで、県レベルで見てもそういう傾向が出ているのかな。
事務局	組み合わせをしてみないとわからない部分もありますが、おっしゃられるように、亡くなった方の数が増えているってということ、今年度は人口透析の方がお亡くなりになった件数が多かったのも複合的な部分もあると思います。分析をしてみないといけません、傾向としてはあるのかな、と。
委員	居宅系が減っているんですけど、人手不足が原因といいますか、肌感覚でいいんですけど、ちょっと足りないとか、適正な人数がわからないので教えてもらいたいと思います。
事務局	計画の段階で、国の方ではこれからの介護は在宅だ、という流れがあり、9 期の計画値を伸ばしていました。が、実際はそこまで伸びなかったということです。減りはしてなくて、微増をしています。 大きな話題の部分で言いますと、1 ページのように計画段階では、要介護・要支援の介護給付が第 9 期の中で伸びていこうと想定をしていました。 しかし、予防が伸びて介護度が出るころまで進行しておらず、抑えが効いてるのかなと思ってます。 その部分が 2 ページの上。介護給付・予防給付の両方が入っているんですけど、ここの推移にも表れています。
委員	なぜこう聞かかという、全県的な部分でかなり減ってきてるんです。事業所が苦戦しているのが、定年とか、人を減らす方が増えて。なんでかな？と思ったもので。西部でも、例えば通所介護とかは共生型にしようかなというような動きもあるらしくて、なんでこんなに共生型に持っていくのかなということ。ちょっとね、居宅系がなんでこんなに苦戦してるかなってのがちょっとよくわからないですね。そのうえで施設系がかなり伸びてるんでこれもよくわからない。原因がわからないんです。加算の関係かなって思ったんですけど、ちょっとわかんない。

	<p>居宅系がある市町の会に出席したときの話では、例えば居宅系で関わるような人でも事業所がなく、すぐ施設に入ってしまうようなことがある。居宅系じゃなくって施設系に移行してるような雰囲気はありますね。</p>
委員	<p>居宅系は家から通所している、そうですね？で、施設系っていうのは、施設にずっと24時間お世話になっている。そっちの方が増えているんですか。</p>
事務局	<p>対象者数までは見ていませんが、給付費を見るとそうですね。 中部管内で施設数や高齢者数は変わらないので、定員は変わってないのであとは単価が上がるか。</p>
進行(会長)	<p>次の説明をしてください。</p>
事務局	<p>5ページですけれど、地域支援事業の取り組み実績と見込みです。この地域支援事業は、要介護・要支援の認定がない方が主に予防事業になります。左側の表題、介護予防サービスと、一般介護予防事業に分けて、見込みました。これは地域支援事業を一つの表にしています。</p> <p>今日皆さんにお伝えしたい数字は、第9期です。第9期は6年度、7年度、8年度ですけど、左側が計画で、右側が実績になります。</p> <p>上から見てもらうと、先ほど委員がおっしゃられた「こけないからだ講座」もあります。これは、新しく取り組まれる自治会やサークル、自治会単位のところに対して新規に方向かせていただくところを講座としていまして、例えば、計画の6年度は1つの自治会に取り組んでもらうようしていたところ、実績の6年度は4自治会に取り組んでいただいたということです。</p> <p>逆に7年度は計画で1自治会にしていたところが、3月末時点でありません。</p> <p>あと、リフレッシュ教室の利用をお話していただきました。その200円は、介護保険の方のサービスだと、国が指定しています。教室の金額を町が設定していて、介護保険同様に1割負担の負担で、実際には、2000円分ぐらいの費用がかかっています。自己負担は1割です。</p> <p>町内事業所があつてこそ、予防事業を展開させてもらっています。</p> <p>上の方、筋力アップ教室北条と筋力アップ教室大栄は、目標数値がそれぞれ410になっていますが、</p> <p>筋力アップ教室がもともと町全体で一つの事業を二つに分けた関係上で、実際は二つ合わせた数値410が町の目指す数値となります。なので、実績で北条と大栄を足していただいた数値と比較していただけたらと思います。</p> <p>それからリハビリテーション専門職派遣事業の増えているところはまた説明させてもらえたらと思いますし、転倒予防教室も、実際に来られる方が多くなりました。支援にいかないよう、食い止めることができていると見ています。高齢者サークル活動支援事業も、増えてきています。</p>
進行(会長)	<p>説明いただきましたが何かご質問がございましたらお願いします。よろしいですか。</p>
事務局	<p>6ページからの重点取組事項については、介護保険事業計画の36ページから、それぞれの項目ごとに計画目標を立てたことに対して、7年度の取り組みを載せていま</p>

す。

特徴的なところを説明します。11 ページは県内の市町村の保険料と認定率の推移です。特に認定率は県内では一番低いことになります。

12ページの資料は、棒グラフで表しているところが北栄町です。棒グラフの上が認定率です。

見ていただいたらわかるように下がってきていて、14%後半を維持しています。6 ページです。表の下の丸のところを説明します。

丸の一つめ、健康推進課と福祉課の2課が一体となって高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に取り組んでいます。健康推進課は 75 歳以上の後期高齢者を、福祉課の方も高齢者関係と重なるので、そこで連携する方針が国にもありまして、北栄町も一体的に高齢者の取り組みをしています。

北栄町が事業所さんのご協力を得ながらしているのが、リハビリテーション専門職派遣事業です。これは各事業所の理学療法士や作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師など専門の方々に協力していただき、普段取り組みをされている生き生きサロンとか、高齢者サークルに出向いてもらって助言をもらっています。

また、中段にあるように「体組成計」という自分の体の筋肉量等を測り、運動をすることでどれだけ維持できているかを数字で見れるもので、測定を実施してきて、下肢筋力の低下が緩やかであることの検証結果が見えていまして、ぜひ来年度フィードバックしながら続けたいですし、成果を感じているところです。

二つめに、集いの場にリハビリテーション専門職を派遣していただく事業です。計画時の1.3倍ぐらいの見込みで利用してくださっています。住民さんの意識も高くなってきているのを実感しています。

丸の3番めですけれど、令和6年度から地域ケア会議で抽出された地域課題に対して、中年期から働き世代の運動不足に対して介護予防が大事だよねっていうところから、いいね北栄町体操っていうのを考えました。そして、DVDを作成して、自治会や町内の事業所さんにも、教室とか、普段の介護予防サービスの提供のときにも使ってもらえたらなっていうことでお配りさしてもらっています。また、生涯学習の出前講座でも介護予防事業のメニューに「いいね北栄町体操」のDVDを貸し出したりするメニューを増やしました。

それから最後の丸です。地域ケア会議で出てきている課題に男性の社会参加があります。「賭けない・飲まない・吸わない」という健康マージャンが、これまで中央公民館の講座であったんですけど、本格的に自主サークルを住民さんが立ち上げられました。参加の場ができたかなっていうところを感じています。

次の②の在宅医療・介護連携のところですけど、今年は4つの目標を全部載せています。丸の表現は、文章としてひとくくりですけど、全体の目標を提示しています。特に今年、行政と医療機関との意見交換を行ってきた中で、身寄りのない人の入院、施設入所に関する課題が深刻化してきているっていうことで、介護連携の方の上でも、意見交換会も開催して下さったりしまして、エンディングノート、「未来ノート」つ

というネーミングですけれど、これにつきましても、もう 1 回見直すため特別に部会を立ち上げていただきました。重要な部分で、予防活動や事業だけじゃなく、この部分もこれから先大事な取り組みです。

入院されたり、施設入所されたりする中で、自分もこれから先にどうしたらいいかっていうことを、具体的に考えなければというところで、ご本人の意思、家族の意思を含めて確認する場をっていう取り組みを深化しようとしています。

8 ページです。認知症施策の推進で、介護予防といったら体の運動だけじゃなくって、この認知症が大きく関係してくると何回かお話をさせていただきました。ここでは 4 つを取り上げています。

事業計画では4つの項目リストに沿って目標を出していましたが、今回は項目 1 と 2 に理解を深める取り組みの実績を報告させていただきます。

1つめの丸です。

令和 7 年 9 月にほくえい介護予防フェスタ 2025「みんなで脳活 みんなで予防 いね北栄町」を開催しました。予防活動の視点でしたんですけど、内容的に認知症の色濃いところがありましたのでこちらに書かせてもらいました。ここでは鳥取方式認知症予防プログラムを取り入れて活動している介護予防教室の運営スタッフ、セラトピアの中村次長にも登壇していただきました。教室のスタッフさん、それから受講生・卒業生さんにもステージ上からご自身の今までの体験談とか思いを話していただきました。

2つめの丸です。

鳥取大学と共同で、認知機能検査研究に取り組ませていただきました。これまで対象者の発見が難しかった軽度認知症とか、その前の段階の疑いがある方の早期発見、早期介護予防に繋げることができました。鳥取大学との、この共同事業で新たな人が見つかったり、来年度の事業につなげることもできました。早めの発見ができたところが大きな成果になりました。

3つめの丸です。

オレンジの花を咲かせるオレンジガーデニングプロジェクトを令和 5 年度から実施してきておまして、介護事業所さんやこども園、小中学校と一緒に実施してきたことで、高齢者の方はもちろん喜ばれますし、こども園のこどもさんにとっても喜ばれました。お互いにとってもいいことづくめだったというところがありますし、こども園さんは参観日に取り組んでくださって、保護者さんにも啓発できたと考えます。アンケートも取っていて、事業所さんはやってよかったとか、啓発に対して 85%以上の効果があったとアンケート結果で見られます。

認知症という部分では、さっきの教室とかりハビリテーション派遣も、記載のとおり認知症疾患医療センターのお医者さんが講師で言うてくださることによって、住民さんもより効果が得られたということを書いています。

4つめの丸です。

認知症などによる理解不明者の早期発見、早期対策事業です。2次元バーコードシー

	<p>ルを服や持ち物に貼ることによって、もしその方がどこかで行方不明になったとして、バーコードシールを読んでもらうことで関係機関に連絡が行く仕組みです。配布者数は令和6年度5人、令和7年度4人だったんですけども、実際にそれを使って捜索になった実績はないです。</p> <p>この前提に、北栄見守り安心ネットの登録が大前提になっていますけど、その啓発も含めて強化していく必要があるんじゃないかなって考えています。</p> <p>4番の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進です。</p> <p>介護のサービスの中で、事業所さんの介護予防以外の部分を住民さん同士の助け合いで充実させようっていうところを目的にしているのがこの事業です。</p> <p>地域ケア会議から抽出された地域課題を行政と生活支援コーディネーターさんでどんな課題があるかをまとめていただきました。結果は10ページの方に載せています。地域ケア会議っていうのは、月2回、包括支援センター主導で介護の支援とかを中心に、ここのところがあるとこの方が幸せに暮らしていけるのっていうのが、課題で上がってきます。</p> <p>マイナス思考だけでなく、プラス、それはお宝っていう強みも確認し合いますので、住民さんが私達のまち、地域の方、皆が幸せに暮らせるかなっていうところを話し合ってくださいる場面を作っているんです。「よっしゃやらあ会さん」とかで話し合ってください、7年度は虹色カフェの会場を栄の交流センター、前の栄保育所。今はいろいろの里っていう介護の方の事業所があって、そこでやってみようという運びになりました。北条側住民さんの集まりの方は、買い物ツアーを検討してくださっています。最終金曜日、第4金曜日にバスが100円で乗れるっていうのがありますし、みんなで集って一緒に買い物に出かけるっていうようなことも考えてくださっております。</p> <p>買い物もヘルパーさんにお世話になるとか、あったかまごころサービスに世話になることもできますけど、ご自身が買い物をするのもいいところがあるっていうことで、お元気な方に集ってもらって、みんなと一緒に楽しみたい、そういう取り組みを考えていただいている住民さんの取り組みを紹介させていただきます。</p> <p>最後です。5番の地域ケア会議の充実っていうところの2番なんですけど、7年度は9月に地域ケア会議の構成メンバーの専門職さんとかに集ってもらって、報告会をしました。地域ケア会議で出た課題とか、事業展開について話し合うことができました。</p> <p>10ページの方の反映は間に合っておりませんが、地域ケア会議には専門職さんもでくださっておりますので、課題をお示ししながらお話させていただきました。説明を一旦終わらせていただきます。</p>
進行(会長)	説明をいただきました。ご質問ご意見ございましたらどうぞお願いします。
委員	エンディングノートの見直しはいいなと思っていますんで、新しいメンバーっていうか、部会のメンバー、どなたを想定しておられるでしょうか？
事務局	医療介護連携推進事業というのが2次医療圏域で、中部圏域で取り組んでいます。共通した地域課題っていうところがございますので、このエンディングノートについて

	<p>も、一市四町で取り組んでいまして、その事業担当者で担当者会を結成していて、メンバー選考を行っているところでございます。実際にまだ選出まではできていないんですけど、案としては司法関係の方を入れたいなと思っていまして、職種でいくと弁護士さん、司法書士さんといった方々。あと医療関係の方々、ドクターとか看護協、医師会とか、看護協会から委員さんを出してもらったりとか、あと介護サービスの代表の方、そういうことに精通しておられる方。あとは社会福祉士さんも大きな意味を持っておられますので、その辺りの方々、今想定しているのは10名ぐらいの委員さんで部会を組織しながらエンディングノートの改訂作業をしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
事務局	<p>琴浦町さんは日本財団のメニューを使ってされているそうですね。</p>
進行(会長)	<p>他に何かありますでしょうか？</p>
委員	<p>私から一ついいでしょうか。聞いてもらうだけで結構なんですけど、どの産業もそうだと思うんですけど、私どもの施設でも介護職員さんになってくださる方が0人でして。極端なことを言えば土建業でも人がいないと聞きますし。今県内の介護の専門学校も1校だけになってしまって、ほとんど外国人。日本人で介護の専門学校に行く人はゼロに近いような状況です。</p> <p>鳥取県の方では、介護人材は外国人に頼るしかないっていうことで、去年ぐらいから、本当に外国人雇用をしなさいっていう感じになって研修もあったりするんですけど、いろんな事情でなかなか外国人材がこない。北栄町はアパートがなくて。倉吉はアパートがあって交通公共機関もいいんですけど。例えばうちの事業所で外国人材を雇おうとしたときに、まずアパートがない。お台場の周辺でもちょっと増えておるんですけど、例えば今日空き状況を聞いても「全くありません」という状況です。スーパーも近くに東宝しかない。近くにウェルネスができましたが、実態として介護人材不足という問題をずっと抱えています。日本人の方に、もちろん来ていただきたいんですけど、なかなかいないですし、他の施設も同じだと思うんですけど、今いる職員も60代の方がすごく多いです。60代の主婦の方がね。あと2、3年すれば定年っていう方も多くて。うちの介護事業の平均年齢が53歳でした。先日、島根県のある自治体の方も同じように、大きな施設の法人が介護人材不足、ケアマネージャーのなり手もない、事業のなり手がいないということで、市町村がその介護人材にお金を出して、町がケアマネージャーの賃金をアップしましょうとか、島根県の方でも始められたっていうことです。後期高齢も含めて高齢者の方が増えますけど、実際もうなり手がなくて、もう本当にあと数年で事業所がなくなるんじゃないかっていう状況があります。もちろんアパートや町営住宅とか、空き家に外国人の方を住んでもらって、雇用で来ていただけたら助かるんですけど。今までマンマーが中心だったんですけど、今、国際情勢で飛行機が飛ばなくて、他の事業所でも1年以上、契約してから人が来ないっていうことなんで、日本も景気が悪くなって、日本以外の方がお金がいいということで、介護人材の不足っていうのはもう喫緊の課題だなと思っています。</p> <p>北栄町、手広く上手に介護予防も取り入れて本当に誇れるまちだなと思いますけど、</p>

	それを支えていくマンパワーがもう本当に限界が来てるのかなと思います。夜勤も65歳を超えられて、まだまだ再雇用、再雇用で夕方4時半から朝の9時半までずっとぶっ通しで、ていうのが夜勤なんですけど、週に1回は入っていただいています。やっぱり今若い人は「夜勤はしたくない、土日休み、残業がない」っていうのが当たり前ですので、なかなかこういった介護業界に人材が集まらなくて、本当に今後どうするんだろうなって感じです。
進行(会長)	おっしゃる通りだと思います。私どもでも介護人材を今後どうしていくのかっていうのはいつも話題になっておまして、いい事業計画を作っても、それを支える人材がいないと介護保険が成り立たなくなっていくっていうのは、現場としてはすごい危機感を持っています。 町単独で何かやるっていうのは難しい部分があるとは思んですけどね。
委員	今日、その近くのガソリンスタンドが203円/ℓぐらいですかね。10日前が170円でガソリンを入れてたのが、もう200円を超えてしまって、補助金もないです。うちの事業所が委託しているいろんな業者さんが、やっぱり10%ぐらい値上げってなると、もう職員の賃金、人件費ぐらいしかってなってくるもので、なかなかね本当に事業を続けていくのが本当困難だなと思います。
進行(会長)	その他の方はいかがでしょうか？せっかくご参加いただいておりますのでご発言いただければ。
委員	さっきのエンディングノートの取り組みの構成員で弁護士とか医師関係と言われましたが、デジタル関係の関係者を入れるっていうのはどうですか。
事務局	デジタル関係を入れるのはどういう関わりですか。
委員	デジタル遺産をどうするかということで。 突然亡くなってスマホの中にサブスクリプション契約をいっぱいしてるけど解約ができないっていうケースがあるのかと。
事務局	そういう方面に精通されてる方って、例えばどういう方がいますか。 まあ、そういうのを、今の未来ノートに書いていただくとか、デジタルデータを書く欄はあるんですよ。そこにパスワードとかを残してもらってというそういうイメージを充実させるっていう意味合いですよ。参考にさせていただきます。
進行(会長)	はい、だいたい予定した時間が近づきました。みなさん他によろしいでしょうか。それでは進行の方をお返します。
<b>4 令和8年度のスケジュール予定</b>	
事務局	令和8年度のスケジュールについて、説明させていただきます。 今の9期計画が令和6、7、8年度。来年度で終わりになって、次の令和9、10、11年度の計画は、第10期計画になります。それを来年度、8年度に策定し、議会に諮らないといけないもので、予定では11月に1回、今日のような会を持たせていただき、10期の計画案、保険料などについて、皆さんにお示しし、審議していただく会を設定したいと考えております。もしかしたら、回数が増えるかも知れませんが、来年度の予定をお願いします。

	<p>詳細の日程につきましては、また改めてご案内をさせていただきますけれど、来年度は回数が増えるということをご承知いただければと思います。</p> <p>あわせて先ほど給付の関係のご質問がありました。まだ分析はしておりませんので、また後日追って報告をさせていただきますければと思います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
5 閉会	
事務局	<p>以上で会を閉じたいと思います。ご協力ありがとうございました。</p> <p>(閉会 15:10)</p>